

MANUAL Mode

MANUAL Modeはサスペンションセッティングを任意に固定できるモードで、従来のCBR1000RR SPと同様のコンベンショナルな特性を楽しめます。

各MANUAL Modeのサスペンションセッティングは、メーターのFUNCTION SETTING画面から21段階の調整が可能です。

■MANUAL Mode選択一覧

モード	走行状況			減衰力項目 メーターのセッティング画面を使って、各減衰力のレベルを調整できる				
	用途	Track	Winding	Street	FR COMP デフォルト値	FR REB デフォルト値	RR COMP デフォルト値	RR REB デフォルト値
	目的	操縦性	操縦性/乗り心地	乗り心地				
M1	●	—	—	—	45%	30%	60%	50%
M2	—	●	—	—	20%	25%	50%	45%
M3	—	—	—	●	10%	10%	25%	30%

減衰力の調整範囲 (Min-Max)

●チタン製フューエルタンク (CBR1000RR SPに適用)

スーパースポーツモデルに求められる航続距離を確保しながら、よりスリムなライディングポジションを実現するため、フューエルタンクを新設計。CBR1000RRは従来通り鋼板製とし、CBR1000RR SPには、公道用量産車として世界初*のチタン製フューエルタンクを採用。同形状の鋼板製よりも1300gの軽量化を実現しました。量産にあたってはフューエルタンクの金型を鋼板用と共有しながら、鋼板とは異なる材料特性を持つ純チタンを深絞り成形しています。この深絞り技術により、従来の3ピース構造から2ピース構造でフューエルタンクを成立させ、背面部の溶接を不要としました。

完成車の中でも高い位置に配置されるフューエルタンクにチタンを採用することで、完成車としてより一層の軽量化とマス集中化が図られ、CBR1000RR SPの軽快感あふれるニュートラルなハンドリング特性に大きく寄与しています。

* Honda調べ 2017年3月現在。

■フューエルタンク 2ピース構造イメージ図

